

人工知能にピッタリのArmマイコン・ ボード「SPRESENSE」誕生

太田 義則

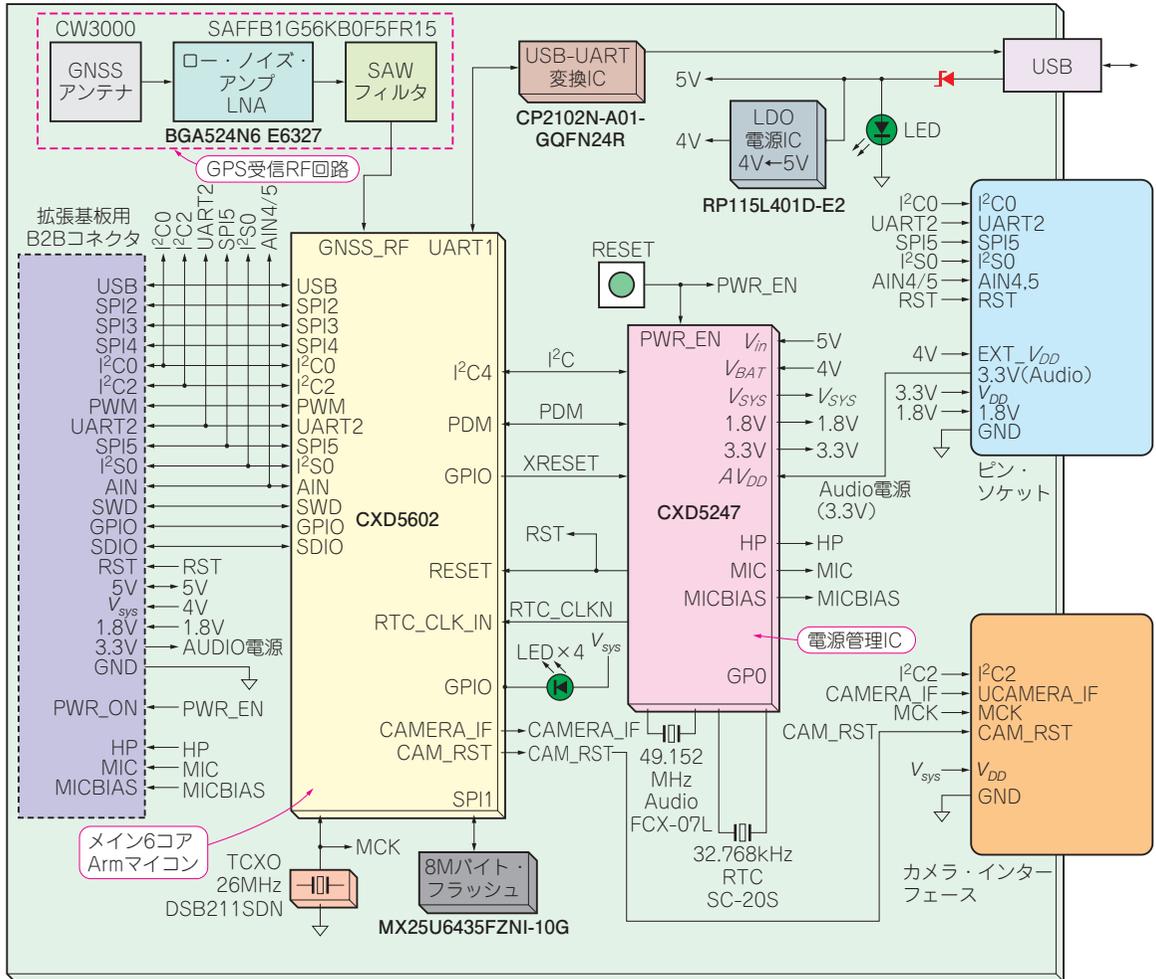


図1 6コアArm Cortex-M4Fマイコン搭載SPRESENSEメイン・ボードのハードウェア構成

GPSのチップ・アンテナが搭載されているため、プログラマブルなGPSモジュールとしても使える。I/O電圧は1.8Vだが、拡張ボードにはレベル変換回路も用意されている

人工知能&IoTプラットフォームとして使える 高性能Armマイコン・ボード「SPRESENSE」

- ソニーがマジメに作ったAI/IoT向けマイコン・ボード

2018年7月にソニーから発売された「SPRESENSE」

は、6つのCortex-M4Fコアを内蔵したマルチコアArmマイコン搭載小型ボードです(写真1, 図1)。

6コアのCortex-M4Fを内蔵したSPRESENSEは、計算性能に優れているだけではありません。最新のシリコン・プロセスで製造されており、低消費電力で使えるように作られていて、乾電池で動かすことも可能